

平成23年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上面においては前年同期比106%、目標に対しても103.7%の実績となりました。経費面につきましては、製造経費及び販売一般管理費等のコスト削減に努めてはいるものの、昨年からの新工場に対する減価償却費の負担増により経常損益は、前年同期より1億400万円減少の3400万円の赤字となりました。
(事業運営面) グループ会社の販売増に依存した傾向が続く中、新工場の稼働向上に向けて医薬品事業の販売戦略再構築を行うほか、OTC事業での富山オリジナルブランド医薬品「エッセン」のドラッグストア向けの口座拡大戦略を図る等、今年度方針である「売る」から始める「創って作って売る」一貫体制の再構築を積極的に推進して参ります。

○ 課題への取組み

本体販売4部門(医薬品事業部・グローバル事業部・OTC事業部・ブランド事業部)の損益分岐点確保を着実に達成する上での、①全社販売部門での「新たな顧客作り」、②開発本部での付加価値(高付加価値製剤技術・製品)の追求、③コスト削減(具体的には、購買・物流・生産効率)を、計画遂行にあたっての重要課題として取組み、月次・四半期毎に進捗等をフォローして参ります。

○ トピックス、適時情報

1. 富山オリジナルブランド医薬品第2弾「エッセン(越撰)」が平成23年4月1日に新発売されました。
2. 当社出資(25%)の富山県立大学初バイオベンチャー企業(株式会社TOPUバイオ研究所)が平成23年4月1日に設立されました。
3. 第97回定時株主総会が平成23年6月23日当社で開催され取締役7名、監査役4名が選任されそれぞれ就任いたしました。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	2,481,845	2,724,054	2,568,349	2,723,532
経常利益	127,972	77,576	70,466	-34,283

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上面においては前年同期比102%で推移しました。増加要因の大部分はグループ会社日本薬剤でのドラッグストアボランタリー流通売上増が寄与した状況となっています。しかしながら、売上原価は前年比106.4%となっており売上総利益は前年同期より7200万円減少となり、経常損益は1億300万円減の3800万円の赤字となりました。今年度の計画も損失を予想してはいますが、グループ全社あげての早期の黒字化を目指すべく経営計画以上の売上アップ、及び原価圧縮・販管費の抑制を図ると共に、今年度は中期5ヵ年計画の4年目にも位置していますので最終年度に向けてアドバンテージ構築を行い継続的な成長の足掛かりとしたいと考えています。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	3,199,207	3,275,597	3,266,665	3,334,523
経常利益	221,699	106,036	65,044	-38,643

平成23年度
(第1四半期)

広貴堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貴堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

100mLドリンクや葛根湯内服液等の液剤は順調に推移し、新製品(3種)を導入しましたが、残念ながら売上高は目標比94.7%、前年同期比98%、経常利益はマイナスで第1四半期を終えました。

(事業運営面)

重点品目および新法対応を含めた配置市場に求められる製品開発、製品導入を実施し、エリア別販売戦略を基本とする営業展開にて、懸場保全と製品シェアの拡大を目指してまいります。

○ トピックス、適時情報

- 6月17日に第5回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役5名、監査役1名が選任されました。
代表取締役社長 劔田義徳 取締役 岩城義則 取締役 槻太朗(東京支店長兼任)
取締役 岩城裕一 取締役 川筋邦夫 監査役 能登恒雄

- 第一四半期での新製品として下記製品を発売しました。

【新製品】

・越撰「エッセン」【第3類医薬品】・アイベリーピュア、伝統のちから(200CP)【健康補助食品】

○ 業績の概況 (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	1,017,515	941,636	896,380	878,120
経常利益	-4,441	-11,634	-6,226	-8,370

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクなどの販売増が寄与し、前年同期比114.5%の11億円となりました。また経常利益は前年同期比114.1%の4000万円となりました。

(事業運営面)

メディカルサポート事業部およびヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しています。

○ トピックス、適時情報

- 6月6日に第51回定時株主総会が開催され、取締役5名が選任され、それぞれ就任いたしました。その後の取締役会で、代表取締役に吉見和宏、取締役会長に岩城義則が選定され就任しました。

- 新発売(4～6月)
かぜ薬 1アイテム

○ 業績の概況 (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	735,296	859,846	960,631	1,100,250
経常利益	27,986	25,088	35,789	40,845

平成23年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

廣貫堂産業 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上高は2589万円(前期比2884万円の減)、売上総利益は2090万円となりました。また販管費は2118万円(前期比419万円の減)となりました。その結果、経常利益は69万円(前期比340万円の減)となりました。

(事業運営面) 「懸場物語Jr」を4月、「懸場物語プロ」を7月に納品を行い、問題なく運用され顧客満足を得ています。8月には「懸場物語Jr」を2顧客に納品予定をしています。また、弊社様からは商品説明の訪問依頼等が多数あり、更なる価値と満足のいただけるシステムとなるように努めます。

○ トピックス、適時情報

1. 関西地区にある専門学校に携帯版eラーニングシステム(登録販売者試験問題配信サービス)を教材として導入していただく事に決まりました。8月より本番稼働予定であります。
2. 「懸場物語」シリーズ導入により蓄積された「顧客情報」、「商品販売情報」、「担当実績情報」、「在庫情報」などのデータをもとに、ipadを使用した顧客価値創造システムを検討中であります。
3. 6月22日に開催されました第65回定時株主総会において取締役役に中田秀芳氏、岩城義則氏、岩城裕一氏が選任されました。岩城義則氏および岩城裕一氏は社外取締役であります。この陣容を持って社業の発展に邁進してまいります。

○ 業績の概況 (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	22,719	25,051	54,735	25,894
経常利益	346	-1,596	4,100	698

広貫堂メディアーズ 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上につきましては、新規商品の開発の遅れや東日本大震災の影響により、ペット飲料の原材料の不足、値上ががあり、前年同期比65.9%と大きく減収となりました。経常利益につきましても、売上の低迷により損失となりました。

(事業運営面)

今年度、上半期において「和漢素材」をプラスした「雑穀米」、「鍋の素」や「富山ブラックカレー」、「アルミ缶ドリンク」等を企画し、発売に向けて進んでおります。

○ トピックス、適時情報

1. 6月17日(金)、第8回定時株主総会を開催し、取締役3名(小紙 司、岩城 義則、福島 邦光)が選任され、それぞれ就任いたしました。その後の取締役会において、代表取締役社長に小紙 司が選任され、就任いたしました。この結果、当社の取締役の陣容は下記の通りとなりました。
代表取締役社長 小紙 司、取締役 岩城 義則、取締役 福島 邦光

○ 業績の概況 (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	103,119	68,546	93,433	61,648
経常利益	1,562	-21,121	-508	-7,598

平成23年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 第1四半期(4月～6月)販売面では前年同期4億8000万円に対し4億8400万円となり前年同期比100.7%、利益面では前年同期マイナス267万円に対しマイナス971万円で推移しました。

(事業運営面)

1. 仙台営業所では20,000軒を目標に仮設住宅を中心に新懸けを開始
2. オフィス事業での6月末冷蔵庫設置台数 1,241台 (富山県内)

○ トピックス、適時情報

1. 6月より富山営業所を富山、富山西(高岡)、富山東(黒部)の3営業所に分割
2. 23年度新卒者を富山、富山東へ配属
3. 仙台営業にて新懸け社員を6名を採用 6月新規拡張実績 約1,400軒
3. 6月21日に第7回定時株主総会および取締役会において5名の取締役が選任されました。
取締役会長 岩城 義則 代表取締役社長 平井 裕 取締役 安井 淳一
取締役 大野 正広 取締役 我妻 敏幸 監査役 広明 滋雄

○ 業績の概況 (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	468,061	444,823	480,896	484,583
経常利益	17,433	-2,672	-2,670	-9,197

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

弊社23年度の第1四半期実績は、売上目標8575万円に対し7387万円となり達成率86.2%(前年同期比79.9%)、経常利益はマイナス1419万円となり、今期より卸部が抜けた影響が出ています。

(事業運用面)

第1四半期は、配置部での運用面改善の遅れからくる売上低迷と、オフィス事業部の新規拡張並びに廻商業務の遅れがありました。第1四半期を総括し、第2四半期は課題面の切り上げとスピード感を兼ね備えた運用改善を行います。

○ トピックス、適時情報

1. 6月14日に第7回定時株主総会が開催されました。取締役3名(平井裕、岩城義則、森明雄)が選任され、それぞれが就任しました。その後の取締役会で、代表取締役社長には平井裕氏が選任され、就任致しました。この結果、当社の取締役、監査役の陣容は下記の通りとなりました。
代表取締役社長 平井 裕、取締役 岩城 義則、取締役 森 明雄、監査役 広明 滋雄

○ 業績の概況 (第1四半期、平成23年4月～6月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	91,540	104,535	92,431	73,878
経常利益	-10,412	5,573	-5,729	-14,199